

登録コード	E0000902	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータ利用教育 C					担当教員	山本 大貴
英文授業名	Educational Computing					副担当	田中 江扶
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・3 時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育学びセンター 2 0 1		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	英語教育コースの学生が対象
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				ICTに関するリテラシーを身に付け、教育現場において活用することができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教員の職務に必要なICT能力を身につけ、教育活動に応用することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業・校務・英語学習等に役立つICTの活用法や、プログラミング等のスキルの指導方法を演習形式で学び、教員になるために必要な情報活用・教育能力を身に付けます。						
(5)授業計画	第 1 回 コンピュータ利用教育の概要【オンデマンド・学びセンター担当】 第 2 回 eメール【山本】 第 3 回 プログラミング教育 (1)：小学校におけるプログラミング教育の意義と内容【山本】 第 4 回 プログラミング教育 (2)：MESHを用いたプログラミング教育【山本】 第 5 回 動画編集【田中】 第 6 回 Notionの活用【田中】 第 7 回 生成AIの基礎と対話型AIの活用【オンデマンド・学びセンター担当】 第 8 回 自分専用AIの作成と業務効率化【オンデマンド・学びセンター担当】 第 9 回 信頼できる情報の分析と論理構成【オンデマンド・学びセンター担当】 第10回 マルチモーダル生成と創造的アウトプット【オンデマンド・学びセンター担当】 第11回 生成AIを用いた読むことのテスト作成【山本】 第12回 生成AIを用いた英語学習/ 表計算ソフトを用いたグラフの作成 【山本】 第13回 表計算ソフトを用いた成績処理【山本】 第14回 Google Formsを用いたアンケート作成、授業評価アンケート【山本】 *授業の順番は変更になる可能性があります。						
(6)成績評価の方法	・メール作成課題（10％） ・プログラミング教育に関する課題（10％） ・動画編集に関する課題（10％） ・Notionに関する課題（10％） ・生成AIに関するレポート（25％） ・生成AIを用いたテスト作成に関する課題（10％） ・表計算ソフトを用いた成績処理に関する課題（10％） ・最終レポート（15％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	【卓越している】：コンピュータ利用教育に関する基礎的な知識を得て，教育活動に応用する力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】：コンピュータ利用教育に関する基礎的な知識を得て，教育活動に応用する力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】：コンピュータ利用教育に関する基礎的な知識を得て，教育活動に応用する力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】：コンピュータ利用教育に関する基礎的な知識を得て，教育活動に応用する力を総合して、一定水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	・授業準備をすること ・この授業は 90 時間の学修を必要とする内容のため、60 時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・英語教育コースのみの履修である。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・随時、相談、質問を受け付ける。 ・個別の授業回に関する質問等は、各担当者が対応する。 ・各担当者の連絡先は、初回授業で案内する。 ・全体に関する連絡先：yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp（主担当教員）						
【教科書】	・指定しない。						
【参考文献】	・適宜配布する。						